

を百萬噸繰返すことも、彼の足は一步も先きへは出ぬであらう。然るに團體交渉は之を巧に運用する事に依つて、その理想に向つての一步を進める事が出来るのである。されば各國に於ては旺んに之が實施されて、時として係争問題の細目に至るまで、之を相互に協商議定する當該の勞資聯合委員又は和解委員の設置を見る向きへある。

英國商務院の報告に依るに、同國では一箇年に千七百件以上の團體協定が行はれ、二百五十萬の人々が、此協定の下に置かれるといふ事だし、獨逸では戰前に於て毎年七千件（關係勞働者百萬人以上）にも及んだといふ事である。その盛んなる事思ふべしである。我國に於ても遅れ馳せず、此權を獲得すべく運動を開始するに至つた事は、最も當を得たものといはねばならぬ。

我。國。に。於。け。る。團。體。交。渉。

團體交渉權は、我國に於ても、今日までに之を得たものがない譯ではない。大正九年一月神戸藤田汽船會社が友愛會海員部（今は日本海員同盟に合併）にして大體左の如く團體交渉權を認めた事もあるのである。

一、今後下級海員を當該船に採用する時は凡て友愛會員を以てする事
二、下級海員に當該社の勞働契約は凡て友愛會を経て交渉契約する事
即ち友愛會の團體交渉權を認むるに共に、同會のクロスドショップ（後段に説く）をも認めたのであつた。而しては海上での話、陸上に於ては嘗て東京の國産製所及足尾鋼山の争議に團體交渉權確保を要求した事があつたが單に組合の事實上の存在を認めさせたに止つた。故に這般の關西の争議に於て此權を獲得したのは、陸上に於ては之が嚆矢といふべきである。而しその獲得したさいふ五丁場の團體交渉權なるもの、内容を一瞥するに及んでは吾人は些が失望せざるを得ない。